



【あさのあつこさんの講演会が終了しました！】

「物語を書くということ～児童文学から時代小説まで～」

11月3日(土) 産業創造館 企画展示ホール

あさのあつこさんと、中学生、高校生、主婦の3人のパネリストとのトークセッション形式で進められました。

パネリストとあさのさんのやりとりや参加者から寄せられた質問への回答の中に、作家あさのあつこさんの考え方や生き方が見えた一時でした。

終了後、書店開催のサイン会も盛況で、帰りの電車の時間ぎりぎりまで、サインに応じてくださいました。

現役作家との稀有な交流の場とあって、参加した方々には緊張と興奮が見え隠れした1時間30分。ファンの方の熱い視線に応えるかのように、あさのさんの弁舌も軽やかに時間の経つのが早く感じられました。

沢山の質問やメッセージをお寄せいただき、ありがとうございました。



*** 高校生による
あさのあつこさん
作品ポスター展**

10月25日(木)から11月7日(水)まで、いわき総合図書館4階テラス前に市内高校生が描いたあさのあつこさんの作品のポスター10点を展示しました。

あさのさんの当館所蔵作品も合わせて展示し、自由に閲覧していただきました。



いただいた質問票と
メッセージは、すべて
あさのさんにお送り
しました。



お知らせとお願い

【小名浜図書館の臨時休館について】

受変電設備改修工事により停電となるため、12月6日(木)～26日(水)まで、休館いたします。図書の返却は、小名浜公民館入り口に設置してあるブックポストをご利用ください。CD、DVDなどの視聴覚資料や大型絵本など、ブックポストに返却できない資料は、おそれいりますが、再開するまでそのままお持ちください。

【お子さんとのご利用について】

小さなお子さんを児童フロアに残して、館外に長時間出してしまう保護者の方がいらっしゃるようです。不審者情報も寄せられておりますので、お子さんから目を離さないようにご注意願います。

【図書の返却について】

返し忘れていた資料はありませんか。借りたものは返して、すっきりした気分で新年を迎えたいものです。図書館が閉まっているときは、ブックポストをご利用ください。



次号予告

次号のYABINAは、「図書館情報システム更新」を特集する予定です。

3月1日から、システムが新しくなります。新しいサービスもはじまりますので、その全容をご紹介します。

◆ 「読み聞かせボランティア育成講座」

10月10日（水）4階学習室

4階学習室において、植村和久氏（ペンネーム 上野与志氏）を講師にお招きして、「読み聞かせの著作権」をテーマにお話をうかがいました。読み聞かせ活動をしている26名の方が参加しましたが、現場で気になっていた問題がテーマということで、大変有意義だったと好評をいただきました。



◆◆ 手作り絵本教室「絵本をつくろう！」

10月19日/26日（金）4階工作アトリエ

参加者は、絵本ができるまでの過程を見本で確認したり、実際の手作り絵本を自由に見たりしながら、真剣に絵本づくりに取り組んでいました。全員が時間内に完成し、充実感を味わっていました。力作の数々は、手作り絵本展会場でご覧いただけます。



◆ 第2回 図書館くらしのセミナー「知って得する わが家の保険」

10月24日（水）4階学習室



「保険は高い商品だから、よく吟味して契約しましょう。…契約している保険のリストを作成しておく、いざというときの保障内容がすぐわかって便利です。」と講師を務めていただいたフィナンシャルプランナーの佐藤房代さん。保険リストの作成に着手した方もいるようです。



◆◆ 講習会「手縫いでおしゃれブックカバー」

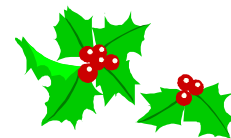
10月30日（火）4階工作アトリエ

久しぶりに針を持った方も古布を素材に使って、オリジナルのブックカバーをこしらえました。講師の橋本佳園子さんの指導を受けて、手仕事を楽しみ、できあがった作品に笑顔満面の皆さんでした。



◆ データベース講習会～知識探索サイトを使いこなそう

11月7日（水）4階会議室



いわき総合図書館5階に設置してあるデータベース検索端末でアクセスできるジャパンナレッジについて、制作元であるネットアドバンスの山本京子氏が講師を務め、1回目は、「辞書・事典を使ってふるさとを調べよう」2回目は、「レポート・企画書作成に有効な使い方」をテーマに手ほどきをしました。

収録されている豊富なコンテンツと使うほどに深まる情報や知識の連鎖を体験して、参加者は手ごたえを感じていました。

選挙と政治の本

● 「決め方の大研究 どんな方法があるの？」

ジャンケンから選挙まで
造事務所 || 編 PHP 研究所 2012.10

選挙ではどんな決め方で、国会議員を選んでいるのか？ たくさんの中から、才能のある人を選ぶ決め方とは？ 決め方の大切さから、様々な決め方の方法、世界の舞台上で使われている決め方までを解説しています。児童書ですが、わかりやすくまとめてありますので、大人の方にもおすすめです。



● 「誰が日本を支配するのか!? 政治とメディア」

佐藤 優・魚住 昭 || 責任編集
マガジンハウス 2010.8

自民党から民主党への政権交代、鳩山政権の崩壊と菅内閣の誕生...。「迷走」を続ける日本の政治はどこへ向かうのか、政権交代を機に加速し始めた、メディアやジャーナリズムの危機を救えるのか、分析に長けた碩学の雄が解き明かし、主権者国民政権の樹立を説きます。





「ねこ」

いわごうみつあき 岩合光昭 || 著 クレヴィス 2010.3

「ナショナルジオグラフィック」の表紙を飾ったこともある野生動物の写真で有名な著者。実は、「ネコが幸せになればヒトも幸せになり、地球も幸せになる！」と言うほどの大のねこ好きです。40年間撮り続けた写真の中から選ばれた、愛くるしくもたくましいネコたち。市立美術館で開催された写真展「ねこ」の図録です。



「みすゞと海と」

金子みすゞ || 詩 尾崎真吾 || 画 二玄社 2012.8

金子みすゞのふるさと長門市に住む画家が、みすゞの魚や鳥などの小さくて弱いものに寄り添ってよんだ詩や、日常のささやかなものから空想した作品に美しい絵を描き添えました。色彩豊かで、いのちの源である海と、みすゞの見たふるさとの風景が重なり、心をあたたくしてくれる本です。



「怪異考／生物の進化」

寺田寅彦 || 著 千葉 俊二・細川 光洋 || 編 中央公論新社 2012.8

戦前の物理学者であり、随筆家でもあった寺田寅彦の随筆選集。著者の郷里の高知で聞いた妖怪の話、地震や雷といった自然現象、目に見えない宇宙線、人魂(ひとだま)やかまいたちなどの超自然的な現象、神秘体験など、怖がりだった著者の好奇心と興味を大いに刺激した、怪異な出来事に関する考察を収録した1冊です。



「なんで？なんで？のこたえ方 子どもの『？』はパパ・ママが解決 3～6歳の好奇心を育てる！」

丹伊田 弓子 || 監修 辰巳出版 2012.9

子どもたちにとって、世界は未知の宝物。そんな子どもたちの「なんで？」をどのように大人が受け止めたらよいか。子どもたちの学びへのモチベーションを上げさせるため、学ぶことの楽しさに気づかせてくれる工夫がいっぱい！日常で子どもたちが疑問に感じる100の「なんで？」と回答を一問一答形式でわかりやすく記した本。



「21人の輪 震災を生きる子どもたちの日々」

すぎまうた 杉浦 大悟 || 著 NHK出版 2012.10

福島第一原発から38キロの距離にある相馬市立磯部小学校6年生の1年間を、丹念に記録したシリーズテレビ番組を本にしたもの。津波で、級友や家族を亡くした子、家を失った子らが、不安な日々の中で、友達、先生、家族との絆を支えに、徐々に前向きに生きる姿勢をとりもどしていきます。子どもたちの姿に、元気をもらえる一冊。



「トールキンのホビットイメージ図鑑」

ウェイン・G・ハモンド/クリスティナ・スカル || 著 山本 史郎 || 訳 原書房 2012.10

指輪物語で有名なイギリスの作家、トールキンの「ホビットの冒険」の出版75周年を記念して、トールキン自身が描いたホビットの冒険のイメージ画100枚あまりを収録したイラスト集。スケッチ画、ペン画、水彩画などの美術作品としてもその世界を表現しました。ホビット好き、ファンタジー小説好きの方におすすめの一冊。



「つぎ、なにをよむ？」

秋山 朋恵 || 編 偕成社 2012.3

学校図書館に勤める著者が、子どもたちがおもしろかったと教えてくれた本や人気があっという間貸出中の本を、低学年、中学年、高学年と対象別に3冊に分けて紹介しています。さらに次の一冊に進むためのしかけも…。「何かおもしろい本ない？」無邪気に聞いてくる子どもたちに素敵な本との出会いを届ける一冊です。



「測って描く旅」

うら かずや 浦 一也 || 著 彰国社 2012.10

物や身を置く環境の雰囲気まで表現しようと、どんどん測って描いていくことを実践しているインテリア設計者。測ることは定量化と客観化を、手書きは感性を育み、どちらもデザインの基礎として欠かせないという著者が、メジャーと小さなスケッチブックを携えてデザインした軌跡をたどります。



「わたしは菊人形バンザイ研究者」

川井 ゆう || 著 新宿書房 2012.9

菊人形ひとすじに長年研究を続けてきた著者が、菊人形にまつわるさまざまな事柄をまとめあげた一冊。全国の菊人形会場に足を運んで、現場の職人たちに聴いた話も生き生きと…。「菊人形は日本の近代が作りあげた民衆の知恵によるすばらしい造形…」という著者の熱い思いが伝わり、菊人形バンザイと唱えてしまうかもしれません。



「3.11から考える『この国のかたち』」

あかさかのりお 赤坂 憲雄 || 著 新潮社 2012.9

無人の集落、原野に戻る田畑。東日本大震災によって大きな被害を受けた東北。その土地に立ち、記憶を掘り返しながら、近代の残像をたぐりよせて、災厄から学ぶべき思想とは何かと問います。

東北をフィールドに長く地元学を進めてきた著者は、現在県立博物館の館長の任にあたっています。

企画展示

「図書探訪 いわきの人物 歴史編」

■1月10日(木)～5月12日(日)

■いわき総合図書館・5階企画展示コーナー



いわきの考古学・地誌学・郷土学・民俗学に先鞭をつけた5人の歴史家を取りあげ、その生い立ちと業績を紹介します。いわきの先人を再顕彰するとともに、それぞれの人物に、より深い関心を寄せるきっかけにしてください。

第36回 吉野せい賞ポスター展



■12月15日(土)～1月10日(木)

■いわき総合図書館・4階テラス前

恒例の展示が始まります。中学生が描いた色彩感あふれるポスターをぜひご覧ください。



冬休み子ども映画会

●12月26日(水) 1回目 10時30分～12時

● " 2回目 13時30分～15時

*産業創造館(ラトブ6階)企画展示ホール

《上映作品》「NHKこどもにんぎょう劇場、ごんぎつね、わらしべちょうじゃ、三枚のお札」「冬休みだ 全員集合」「サンタさんは大いそがし」 ◎先着各150名・入場無料

●12月25日(火) 14時～15時30分:植田公民館

●12月27日(木) 10時～11時30分:四倉公民館

● " 14時～15時30分:常磐公民館

●1月7日(月) 10時～11時30分:内郷公民館

《上映作品》「忍たま乱太郎の地震用心・火の用心」「ランボ一の勇気」「ミミちゃんのとてとて」「冬休みだ 全員集合!」「ごめんね ともだち」 ◎先着30名程度・入場無料



視聴覚資料上映会

○先着30名程度・入場無料

いわき総合図書館(4階・会議室)午後2時～

●12月15日(土) 一般向け

「NATIONAL GEOGRAPHIC マヤ文明の謎に迫る」 (53分)

●1月5日(土) 子ども向け

「ヨウカイとむらまつり、14ひきのかぼちゃ」 (46分、20分)

●1月19日(土) 一般向け

「プロフェッショナル仕事の流儀
編集者 石原正康の仕事」 (43分)



いわき総合図書館
展示棚のテーマ

4階子ども展示コーナー〈おはなしのへや入口〉

12月/1月

・「おすすめ読み聞かせ絵本」

・「小学校の教科書にのっている本 3年生」

4階テーマ展示コーナー〈生活・文学のフロア階段前〉

12月・「時代をかけぬけた女性たち」

1月・「日記にまつわる本」

5階テーマ展示コーナー〈歴史・科学のフロア階段前〉

12月・「政治」

1月・「日本の外交」



おはなし会

○事前申込不要・入場無料

●いわき総合図書館(4階・おはなしのへや)

12月8日(土) 午前11時から

12月22日(土) "

12月29日(土) "

1月12日(土) "

1月26日(土) "



●小名浜図書館(小名浜公民館2階会議室)

1月12日(土) 午後2時30分～

●勿来図書館(植田公民館3階視聴覚室)

12月8日(土) 午後2時～

1月12日(土) "

●常磐図書館(常磐公民館2階和室)

1月12日(土) 午前10時30分～

●内郷図書館(内郷公民館2階和室)

12月8日(土) 午前10時30分～

1月12日(土) "

●四倉図書館(四倉公民館1階和室)

12月22日(土) 午前11時～

1月12日(土) "

※都合により日程が変更になる場合もあります。

〇〇 ゆく年くる年 〇〇



選挙のため、例年以上に気ぜわしい師走となりました。時間のある方はゆっくりと、忙しい方はそれなりに、新年を迎える準備を進めましょう。

お掃除は、くたびれない程度に、しかし張り切って。掃除はストレス解消や精神の浄化にもつながると言われています。ちゃっちゃと体を動かして、心置きなくお節料理をいただけるように、がんばりましょう。よいお年をお迎えください。